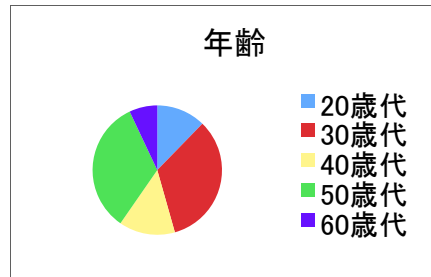


参加者 65名
 回答者 57名

1. 最初に、あなたのことをお伺いします。

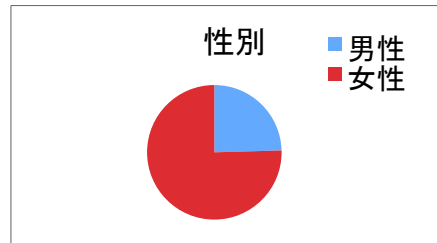
◆年齢

20代	30代	40代	50代	60代
7	19	8	19	4



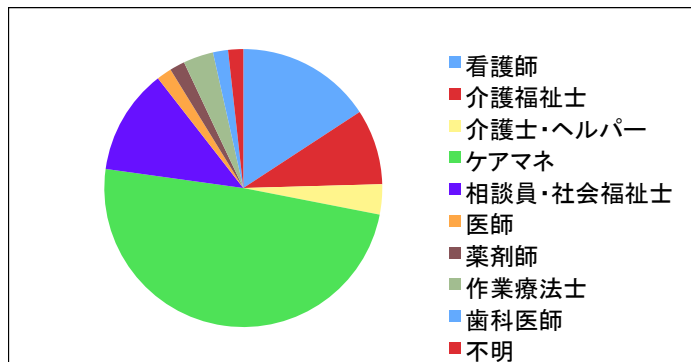
◆性別

男性	女性	無回答
9	31	2



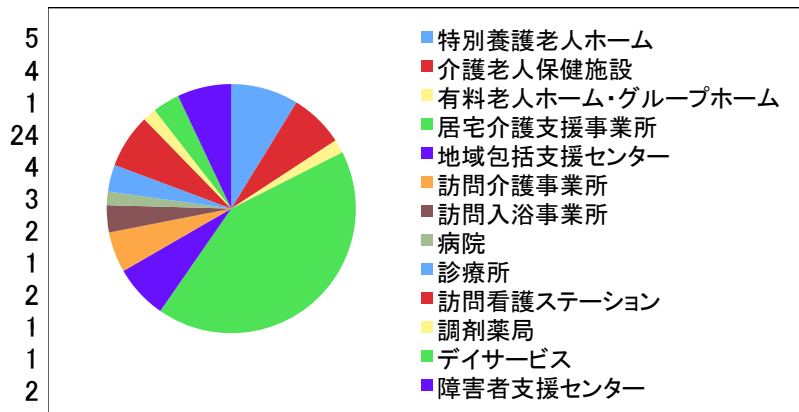
◆職種

看護師	介護福祉士	介護士・ヘルパー	ケアマネ	相談員・社会福祉士	医師	薬剤師	作業療法士	歯科医師	不明
9	5	2	28	7	1	1	2	1	1



◆勤務場所

- 特別養護老人ホーム 5
- 介護老人保健施設 4
- 有料老人ホーム 1
- 居宅介護支援事業所 24
- 地域包括支援センター 4
- 訪問介護事業所 3
- 訪問入浴事業所 2
- 病院 1
- 診療所 2
- 調剤薬局 1
- 訪問看護ステーション 1
- デイサービス 2
- 障害者支援センター 4



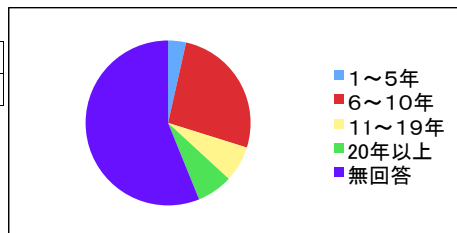
◆参加事業所数

特養 2 老健 1 有料老人ホーム 1 居宅介護支援事業所 11 訪問介護 1

訪問入浴 2 訪問看護ステーション 1 通所療養介護 1 デイサービス 1
 包括支援センター 1 障害者支援センター 1

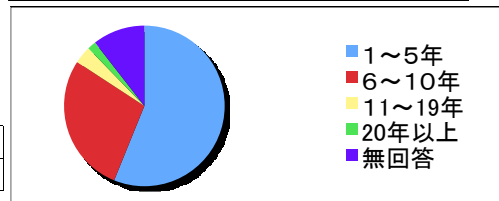
◆臨床経験年数

1～5年	6～10年	11～19年	20年以上	無回答
2	15	4	4	32



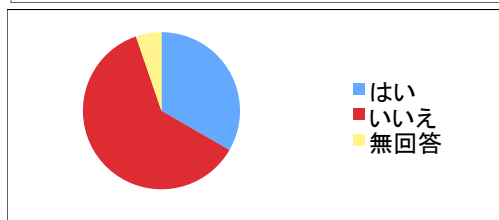
◆現在の勤務場所での経験

1～5年	6～10年	11～19年	20年以上	無回答
32	16	2	1	6



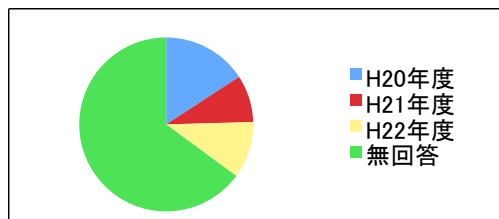
◆あなたはリンクスタッフですか？

はい	いいえ	無回答
19	35	3



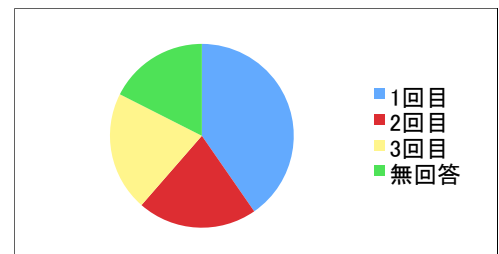
◆いつからリンクスタッフになりましたか？

H20年度	H21年度	H22年度	無回答
9	5	6	37



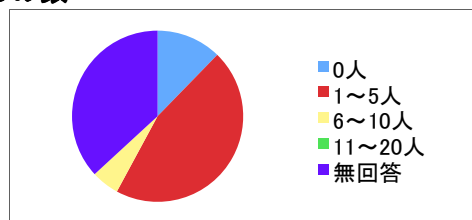
◆リンクスタッフ研修会の参加は何回目ですか？

1回目	2回目	3回目	無回答
23	12	12	10



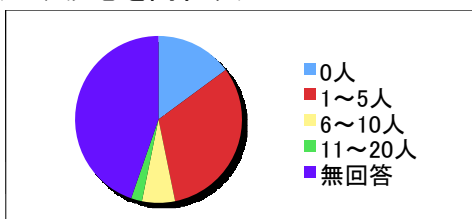
◆昨年度あなたが関与して亡くなったがんの患者さんの数

0人	1～5人	6～10人	11～20人	無回答
7	26	3	0	21



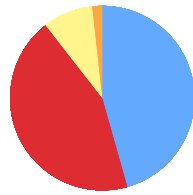
◆昨年度あなたが関与した施設内・在宅看取りの数(基礎疾患を問わず)

0人	1～5人	6～10人	11～20人	無回答
7	15	3	1	21



2. 緩和ケアリンクスタッフ意見交換会は、あなたの仕事に役に立つと思いますか？

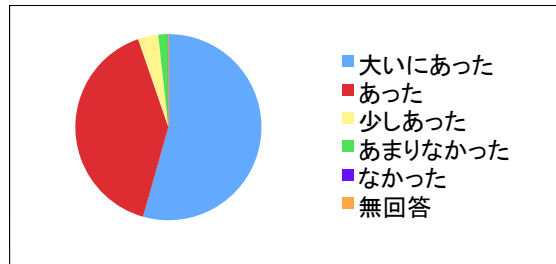
とても役に立つ	役に立つ	少し役に立つ	あまり役に立たない	役に立たない	無回答
26	25	5	0	0	1



- 大いに役に立つ
- 役に立つ
- 少し役に立つ
- あまり役に立たない
- 役に立たない
- 無回答

3. 今回の事例と意見交換の場を通して、あなたの立場で参考になる点はありましたか？

大いにあった	あった	少しあった	あまりなかった	なかった	無回答
31	23	2	1	0	0



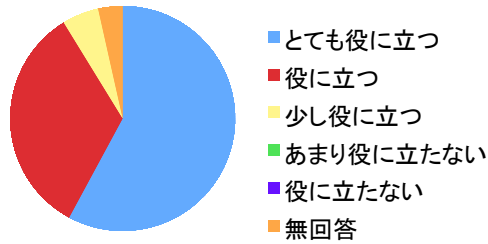
- 大いにあった
- あった
- 少しあった
- あまりなかった
- なかった
- 無回答

* 具体的にどんなことが参考になりましたか？

- ・色々な意見、考え方が聞け、とても良かった。
- ・カンファレンスの大切さ(関わる者の顔が見える)
- ・看取りをすることに疎かった私にとって経験なされた方からの生の声を聞いたことはよかった
- ・どんどん質問してどんどん相談する姿勢、後押ししてもらった。
- ・心地よいケア。遺族ケアのあり方。
- ・職種が異なる方との意見交換はとても貴重でした。
- ・他の施設での取り組みを聞いたことで、自分の施設での取り組みがどうなのか反省や良いのだと確認できる
- ・ケアマネや看護師の経験事例や意見が聞いて良かったと思います。
- ・悩みや他の施設職種の方達と情報を共有する事が出来て良かった。
- ・看取りに対する向かい方。
- ・病院内カンファレンスをケアマネだけではなく、現場で実際に動くヘルパーさんや介護士さんと呼んだ方がよい。職場で相談できる場を作る。
- ・ケアマネージャーの思いを知ることができた。施設での看取りの取り組み。
- ・他職種の方の悩みや不安が聞けたこと
- ・みんなで方向性を決めて支援していく。医療にケアマネも参加できる。
- ・退院時のカンファレンスの持ち方。退院まで何度もカンファレンスを行い、家族の不安のない在宅生活を実現に向けていく。
- ・わからないことをそのままにしない。みんなで話し合える雰囲気作り。
- ・同じ悩みを持つ人がいて、対応について参考になった。
- ・他職種の意見を聞くことができた。
- ・他職種の方の思いや仕事の内容が具体的に話し合いでき、参考になりました。
- ・経験がないなりに疑問点がきちんと浮かび上がった。
- ・別の職種の方から話が聞けた
- ・現場での経験は勉強になり、今後の業務に生かせる。
- ・医療の専門用語に悩んでいるのは私だけではなかったこと。研修会などの機会に参加することが大切とわかった。

4. 他の施設や事業所の事例や取り組みについて知ることは役に立つと思われますか？

とても役に立つ	役に立つ	少し役に立つ	あまり役に立たない	役に立たない	無回答
33	19	3	0	0	2

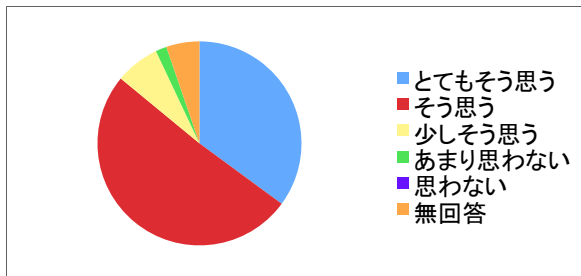


*** 具体的に知りたい内容や取り組み**

- ・ターミナル利用者、患者へのメンタルフォローの仕方。在宅の医師、看護師でどこまで利用者に関わる事ができるのか。
- ・事例を多く聞きたいと思いました。
- ・また看取りについての事例、反省をふまえた事など意見交換できたらいいと思います。
- ・在宅での緩和ケアについて基本的なことをもっと勉強したいです。
- ・スタッフ教育。意思統一。
- ・悩みをお互い共有しあう事もとても参考になります
- ・福祉系の方の仕事、困っていること。
- ・顔が見える関係が作れた。
- ・施設や病院での方針や方向性を知ること大事だと思う。
- ・チーム連携について。

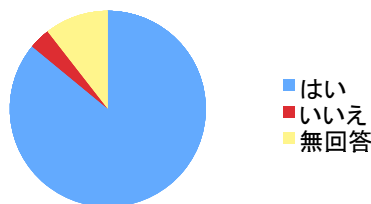
5. 緩和ケアリンクスタッフ意見交換会に、今後も参加したいと思いますか？

とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	あまり思わない	思わない	無回答
20	29	4	1	0	3



6. 地域緩和ケアサポートチームや緩和ケアサポートセンターの相談機能、出張研修会を今後利用してみたいか？

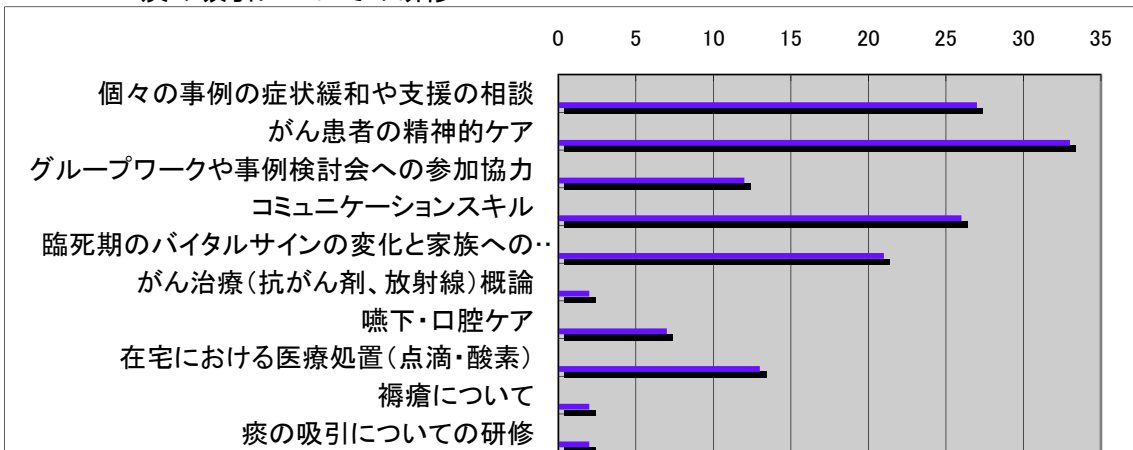
はい	いいえ	無回答
49	2	6



*** 施設や事業所で相談・研修してみたいテーマ**

個々の事例の症状緩和や支援の相談	27
がん患者の精神的ケア	33
グループワークや事例検討会への参加協力	12
コミュニケーションスキル	26
臨死期のバイタルサインの変化と家族へのケア	21
がん治療(抗がん剤、放射線)概論	2
嚥下・口腔ケア	7
在宅における医療処置(点滴・酸素)	13

褥瘡について 2
 痰の吸引についての研修 2



※その他

- ・日常で使う医学用語 よく行う検査
- ・ケアをする側へのケア
- ・よく使う専門用語の理解を深める研修会。

6. 感想や要望

- ・何もわからないまま初めて参加させていただきました。これからの仕事に大変役立つ事をたくさん得ることができました。ありがとうございます。
- ・リンクスタッフ外のメンバーの参加ができるような今回のような研修を増やしてほしい。
- ・今回参加させてもらいありがとうございました。
- ・初めての参加でしたがいろいろな職種の方の意見や経験を聞けて大変参考になりました。
- ・今回のようなグループワークがとても良かったです。
- ・事例を通しての学習はとても参考になります。これからも事例報告をお願いします。
- ・とにかく歯科の参加が少ないと思います。これから歯科も多職種の中に入り、食支援、口腔ケアなどで活躍の場ができると良いと思います。
- ・施設でターミナル委員会を立ち上げて医師との方針の違いで遅れてしまった例や病院医師から病状の情報提供がないままで受け入れた例などあった。医師にも参加してもらい、思いを知ってほしい。どんな連携の話になっても医師の問題が出てくる。この緩和ケアプロジェクトで医師の意識は変わったのか
- ・色々な職種の方と顔の見える関係作りとして話し合いの場を持つことは大変大切であると改めて感じました。今後もまた参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・参加できてとても良かったです。介護職としての方向性がはっきりしました。ありがとうございました。
- ・自分に医療の知識が少なく、医師や看護師さんと話すことにいつも不安がありました。今回の研修に参加し、わからない事は聞こう！と思えました(ひとりで悩まず)。
- ・求められる事、出来ること、しないといけない(使命感)など負担が大きく感じる事が多い。その中で自分なら出来ることは何か、みんなを巻き込んで行くなど、ひとりで抱えないようにしている。
- ・日常的に使われる医療用語を教えてほしい。

- ・ お互いを理解し合う。医者も問題だけど、三原先生という言葉に付け加えて、行政(保険者)の理解も大切だと思う。連携にぜひ行政も。
- ・ 参加させていただいて勉強になりました。
- ・ 居宅のケアマネが身に付いておいた方がよい医療的な情報、知識を得られる機会がほしい。
- ・ 他職種の方とコミュニケーションが図れ、勉強になりました。
- ・ ケアマネ職が多く、内容が深まらないので、医療職、病院看護師と交わってみたい。地域の主治医(の代表でも)がこの場に出てくれたら・・・
- ・ 最近日本海病院からの緩和のケースに携わった。良い経験をしました。病棟付きの相談員(看護師)が本人・家族と十分にかみくだいてアセスメントし、カンファレンス、担当者会議をとともていねいに(医師もちろん参加)開催して安心して(全スタッフ、本人も)自宅へ帰れました。荘内病院とのあまりの違いに自分の親は日本海病院へ何かあったら入院させようと心から思いました。サービスが整ったら退院。基本だと思います。病気を持ったの退院ですから。荘内病院も酒田を見習い、病棟看護師、相談員体制を作ったらどうでしょう。市民のため。病院へケアマネを派遣して、自宅へ帰るとは・・・という相談業務を請け負って、どうやったらよいかみせてもらってはどうか。
- ・ 医療と介護の連携ができるこのような研修会を増やしてほしい。和泉先生のよくわかる緩和ケア研修会をしてほしい。
- ・ あっとホームな雰囲気作りがとても話しやすく、良かった。和泉先生のファンリ良かったです。ありがとうございました。お疲れさまでした。